

2019年4月～6月

こどもアート教室【小学生クラス】 日程表

※毎週月・金曜日 17:00～18:00

4 April

< 4月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18★	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- ⇒ 第1週：何に見えるかな？
- ⇒ 第2週：サクラの壁面飾り
<好きなものを持ち合わせて詰め込むアート>
- ⇒ 第3週：イースター工作
<～たまごに色づけをしてみよう～>
- ⇒ 第4週：お母さんの似顔絵を描いてみよう①
<～お顔を似せるコツ～>



★ ※体験教室の開催日となります。

5 May

< 5月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ⇒ 第1週：お母さんの似顔絵を描いてみよう②
<～色をぬって完成！～>
- ⇒ 第2週：マーブリング①
<～マーブリングをしてみよう～>
- ⇒ 第3週：マーブリング②
<～マーブリングで夢の世界を表現しよう～>
- ⇒ 第4週：点と線だけで違いを見つけよう
<～表現力を広げる～>



※4/29～5/6はGW期間中の為、休講です。

※似顔絵のモデルは他の身内の方でも結構です。

6 June

< 6月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
					★1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- ⇒ 第1週：お父さんの似顔絵を描いてみよう①
<～似せるコツのおさらい～>
- ⇒ 第2週：お父さんの似顔絵を描いてみよう②
<～色をぬって完成！～>
- ⇒ 第3週：作品カタログ作り
<～違いの認識～>
- ⇒ 第4週：プラバンアート
<～キーホルダー作り～>



※似顔絵のモデルは他の身内の方でも結構です。

※スケジュールは、やむ得ず変更となる場合がございます、その際は事前にご連絡致します。

お問い合わせは【カリカチュア教育事務局】 TEL:03-3845-1445 (平日 10:00~18:00) Email: school@ml.caricature-japan.com

お子さまに学んでいただけること

4 April

第1週：何に見えるかな？

木製の形や大きさの紙を使って絵を描きながら、想像力と発想力を養います。

第2週：サクラの壁面飾り <好きなものを持ち合わせて詰め込むアート>

作品は「1つと2つ冬わり」ではもったいない！
「1つと3つ春」こと自分の作品と向き合うこともできます。

第3週：イースター工作 <～たまごに色づけをしてみよう～>

日本ではまだあまり馬鹿染みが少ないイースター祭。
異文化を学びながら楽しく工作をしましょう。

第4週：お母さんの似顔絵を描いてみよう① <お顔を似せるコツ>

彦夏の特徴を7かみとるための発見察かや
絵で表現する方法を養います。

5 May

第1週：お母さんの似顔絵を描いてみよう② <～色をぬって完成！～>

出来上がった似顔絵の絵具に色付けをします。
「誰かのために描く」絵具馬鹿染み人を楽しんだり気持ちも育みます。

第2週：マーブリング① <～マーブリングをしてみよう～>

モダンアートテクニックの一つです。
インクを水面に垂らして出来た模様を紙に「写し取り」、色彩の多様性も学びます。

第3週：マーブリング② <～マーブリングで夢の世界を表現しよう～>

紙に「写し取られた」マーブリング模様を使って夢の世界を表現します。
想像力を膨らませることが目的です。

第4週：点と線だけで違いを見つけよう <～表現力を広げる～>

一本の筆で様々な点と線を描きます。
お友だちの作品と見比べることで他人との違いを認識します。

6 June

第1週：お父さんの似顔絵を描いてみよう① <～似せるコツのおさらい～>

母の日に引き継ぎ、彦夏の特徴を7かみとるための発見察かや
絵で表現する方法を養います。

第2週：お父さんの似顔絵を描いてみよう② <～色をぬって完成！～>

出来上がった似顔絵の絵具に色付けをします。
「誰かのために描く」絵具馬鹿染み人を楽しんだり気持ちも育みます。

第3週：作品カタログ作り <～違いの認識～>

「点と線だけで違いを見つけよう」の回でできた作品をカタログにまとめます。
違いの認識の応用である「違いの整理」を本馬鹿染みします。

第4週：プラバンアート <～キーホルダー作り～>

プラバンでオリジナルキーホルダーを作ります。
自分の身に着けられる作品を作ること、作品に込める思いを育みます。